※利用前の確認厳守 （感染防止策チェックリスト:徳重地区会館）

確認時間	（　　：　　）		
使用責任者		使用人数	名

項目	チェック	確認事項	特記事項
「３つの密」を避けるための取り組み			
密閉空間としない	□	窓の開放による定期的（**３０分に１回以上**）な換気を実施する。２方向の窓を数分程度全開にする（窓が１つしかない場合は、入り口のドアを開ける、扇風機を併用するなど工夫する）。	窓の開放中には**大きな音を出さない**こと。
密集場所としない	□	施設の利用人数は収容定員の**半分以下**とする。（第１集会室１２人、第２集会室１２人、和室１０人、茶室１０人、実習室１２人、多目的室１２人、体育室225人）	
密接場面としない	□	利用中は人と人との**距離を十分に確保**する。入口で密集しないよう、利用者の誘導等を行う。どうしても距離を確保できない催事を実施する場合は、アクリル板の設置等により遮へいする。	
	□	近距離での会話や大きな声を出さない。利用者がロビー等で飲食（体調維持のための水分補給を除く）や長時間会話しないよう、呼びかける。	
	□	【飲食を伴う催事を実施する場合】 **対面での飲食とならない**よう座席を配置し、 人と人との**距離を十分に確保**する。 飲食物の提供時や飲食時の会話を控える。	
	□	【運動・スポーツを行う場合】 **運動・スポーツの種類に関わらず**、着替えや休憩など運動・スポーツをしていない間も含め、 **周囲の人との距離十分に確保する。**	強度が高い運動・スポーツの場合は呼気が激しくなるため、より一層距離を確保すること。
	□	【更衣室を使用する場合】 一度に入室する利用者の数を**５名**までとする。	
ウイルス飛沫・付着予防対策の実施			
マスクの持参	□	**マスクを持参**するよう、すべての利用者に徹底する。	
手洗い等	□	手洗い・手指の消毒の徹底、トイレを使用する際は、蓋を閉めて流すよう、利用者に促す。	
利用者の健康状態の把握等			
健康状態の把握	□	非接触型体温計の活用や体温等健康状態の申告等により、利用者の健康状態の把握に努める。	非接触型体温計は窓口にて貸出可能。
利用の自粛	□	発熱や咳、倦怠感などの体調不良時には施設を使用しないよう、利用者に呼びかける。	
感染追跡調査を可能とするための措置の実施			
連絡手段の確保	□	感染者が発生した場合に備え、**すべての利用者の連絡先を把握**しておく。	
調査への協力	□	感染者が発生した場合には速やかに保健センター、施設管理者に連絡をとり、感染追跡調査に協力する。	
その他			
規定等の遵守	□	感染防止のために上記事項を遵守し、地区会館の職員の指示に従う。	